



20 大龍山翁松寺跡
だいいりゅうざんおうしょうじ
 高山の瑞光寺の末寺で曹洞寺。
ずいこうじ
えいしょう 永正 10 年（1513 年）に瑞光寺 42 代
 の真翁慶観和尚が開山したといわれる。
 本尊は大黒天であったとされる。
 明治初期の廃仏毀釈で廃寺となり、現
はいぶつきしゃく
 在は木入道公民館奥の墓地に僧の墓が数
 基残るのみである。

21 愛宕神社
あたご

創建は不明。
 祭神は、火の神様・鍛冶の神様の
 カグツチミコトである。
 社殿には、三本足のカラスを彫り
へんがく
 こんだ扁額がある。
はやま
 隣接する駿馬神社とともに、明治
 42 年（1909 年）駿河稲荷神社に合
 祀されている。



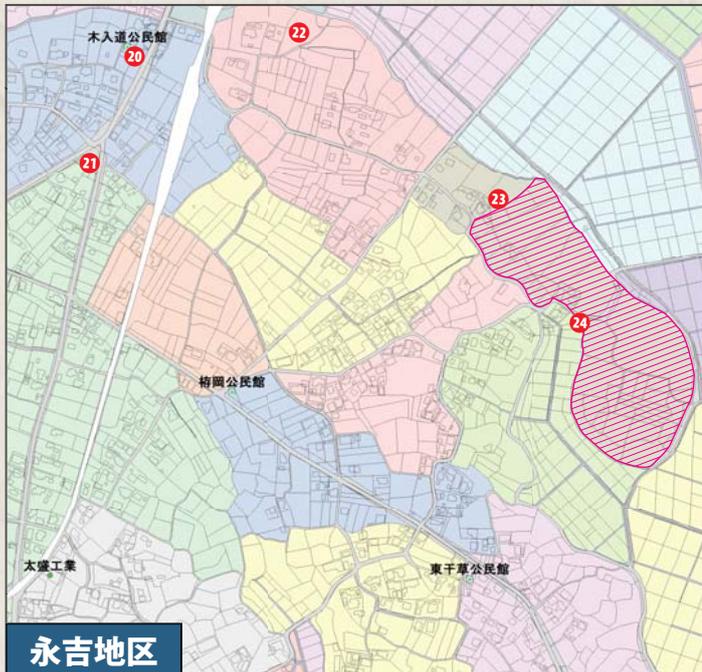
22 駿河稲荷神社

応永 13 年（1406 年）創建の棟札があるが、それ以前の 13
 世紀頃、大隅守護・名越氏の代官・肥後氏が当地へ赴任すると
 ともに、一族の氏神として勧請したことが始まりと考えられる。
うかのみたまのみこと おおたひめのみこと おおみやひめのみこと
 祭神は、倉稲霊命、大田姫命・大宮姫命とされ、古くから五
 穀豊穰・諸業繁盛の神様として信仰を集めた。旧村社である。



23 梶谷城跡

『梶谷城』は古文書等に全く記録がされていないが、
 地形・地名から城跡と推察されている。
 大崎町史には『鎌倉時代、大隅守護・名越氏の代官
 であった肥後氏が新調堀を治所とした』とあり、その
 肥後氏が梶谷の台地の南部を非常時の拠点として構え、
 訓練場としていたのではないかと考えられている。



おおさきの歴史を旅してみませんか ②⑨
 未知なる歴史が探究心をかき立てる地域（永吉地区）⑤
歴史を歩く 63

24 山王七神大明神

棟札から、宝暦 10 年
ほうれき
 （1760 年）に蔵ヶ崎門の
かど
みょうず
 名頭甚六という人物が造
 立したことがうかがえる。
 蔵ヶ崎門の氏神として、
 家内安全・子孫繁昌・牛
 馬の息災・五穀豊穰を祈
 願したものと考えられる。



※門＝薩摩藩の農村にお
 いて、数戸ごとに編成
 された生産共同体